



## ともに創る 三陸の地に輝き 躍動するまちの実現に向けて



大船渡市長 戸田 公明

東日本大震災から7年の歳月が経過いたしました。ここに、あらためてお亡くなりになりました方々に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被災された多くの皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

本市におきましては、これまで市民の皆さまのご協力のもと、市復興計画の推進に全力で取り組んでまいりました。その結果、事業費ベースでの進捗率が8割強に達するなど、着実に復興の歩みを進めてきたところであります。最優先に取り組んできた被災者の住環境確保につきましては、災害公営住宅に続き、高台移転住宅団地の整備も、昨年9月までに全て完了し、地権者への引き渡しや住宅建設が進んでおります。

また、大船渡駅周辺地区におきましては、昨年までに多くの商業施設がオープンし、新たなにぎわいが生まれており、間もなく、市の防災観光交流センターや新たな民間商業施設が完成するなど、さらなるにぎわいが期待されております。

そのほか、水産施設や漁港関係施設などの整備、道路の新設・改良事業、被災学校の移転改築事業など、各種事業ともおおむね順調に進捗している状況にあります。

一方、大船渡駅周辺地区の土地区画整理事業

区域内におけるかさ上げ後の民有地の活用につきましては、一部で店舗兼住宅の建設が進められているものの、まちなぎわいづくりの核となります住宅の再建は、これから本格化していくものと思われ、関係する方々に対し早期の住宅再建につきまして協力をお願いしてまいります。

また、被災跡地の利活用につきましては、末崎町細浦地区や三陸町越喜来浦浜地区での広場整備など、一定の成果を上げているものの、いまだ利活用の定まっていない地区もあり、今後、なお一層その推進に努めてまいりたいと考えております。

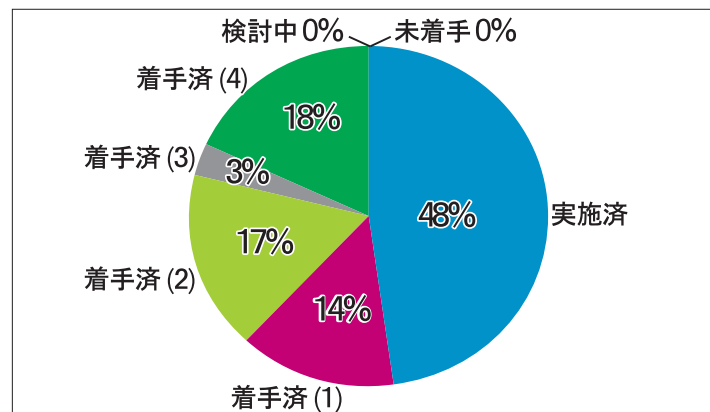
さらには、住環境が変わった被災者にかかる新たなコミュニティの構築や心のケアなど、ソフト面での被災者支援につきましても、丁寧に対応してまいります。

市といたしましては、こうした現状を踏まえつつ、復興計画に搭載した事業について、計画期間中に完了させることを目標に、市民の皆さまとの協働を強めながら、各種事業の取り組みを強化、加速してまいりたいと考えておりますので、今後におきましても、一日も早い復興に向け、なお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 復興事業の状況

問い合わせ先 復興政策課(管内線339)

防潮堤工事が進む門の浜漁港海岸



### 着手済の分類

- 震災前からの事業で、再開したもの⇒【実質的終了】
- 震災後からの事業で、軌道に乗ったもの⇒【実質的終了】
- 震災前からの事業で、再開したが未完成(未完了)のもの
- 震災後からの事業で、未完成(未完了)のもの

市では平成23年10月31日、東日本大震災を乗り越え、被災者が生活を再建できるように、また、市民が幸せを感じ、誇りを持てるまちとして再生するために、大船渡市復興計画を作成しました。平成29年9月30日現在で復興計画に搭載している事業数は、4つの柱①市民生活の復興②産業・経済の復興③都市基盤の復興④防災まちづくりの合計で256件となっております。

進捗よく状況は、実施済みが124件、着手済みが132件、検討中(実施に向け準備段階)、未着手(実施の見通しが立たない)はいずれも0件です。

着手済みのうち、78件は実質的に終了と認められますので、計202件(約79%)が当初の目標を達成していることとなります。

### 進捗率の推移

